

みんなで協力し、準備や後片付けもスムーズに行われました。参加者にその場で募金額と送り先を明示するなど、ローターアクトの魅力を良い形で感じていただけました。

ゲーム終了後に、一般の方からローターアクトとはどんな組織なのかという質問をいただいたことなどからも、良きPRになったのではないかと思います。



③成果に関して

初めのよそよそしい雰囲気から一気に打ち解けて、多くの方楽しんでいただける、そして繋がりが深く広まる機会になりました。アクトの日の目的であるPRは会場のブログ等に当日の様子が掲載される、また参加者個人が個人のウェブページで楽しかったと当日の様子を紹介してくれるなど思わぬ収穫もあり、地域におけるローターアクトの認知度向上に役立てることが出来たのではないかと思います。

また目に見える成果として、アクトの日の次の例会にはそれぞれのクラブに当日の参加者が見学に来てくれるなど会員増強の一歩となる成果も得られました。また企画から1週間ほどで実行委員長に良きご縁があったとの報告もありました。



④終わりに

アクトの日はクラブを超えて企画を進める必要があり、様々な問題も生じました。

告知の遅れから目標達成人数に参加者が届かない、予算内に収まりかつ天候の心配が要らずかつアクセスも悪くなく、バブルサッカーを受け入れてくれる会場の確保、企画の最適化、情報の齟齬など。それら乗り越えていく過程にアクトの日の醍醐味があるのかもしれませんが。今回のアクトの日を一過性のものにしないうえにも、見学者のフォローや会員増強、次年度への引継ぎなど、今後にも深く広く繋げていく必要がある。